



JFRL 情報宅配

* 今月のトピックス *

[機能性成分関連試験の現状と研究事例紹介]

機能性表示食品の開発において、素材の探索や関与成分の特定、エビデンス取得と安全性評価、商品設計と試作、最終製品を用いた分析試験方法の確立や繰返し試験、そして手順書の作成、届出書類の作成と提出、そして GMP 等に基づいた製造・品質管理に至るまで、数多くのプロセスを完遂されるのは、並大抵の苦勞ではないかと思えます。

弊財団では、従来から成分の定量試験法/定性試験法の各種ラインアップに加えて、試験法開発のご相談も承っております。併せて、カプセル・錠剤の崩壊性試験、溶出試験、製剤均一性試験も受託しております。また、生物学的安全性試験や各種残留試験等を含む、製品規格に基づいた分析試験も受託しております。⇒詳しくは、右の画像①をクリック！

また、素材が機能性表示食品になり得る機能性を有しているかを調べるスクリーニング評価として、培養細胞を用いた手法や生化学的手法を用いた各種機能性評価試験系を受託しております。

⇒詳しくは、右の画像②をクリック！



それらに加えて今回は、弊財団独自のシーズから機能性探索を行い、その関与成分の同定まで実施した事例を 2 つご紹介いたします。

事例①ゲットウ由来成分の骨代謝改善効果

沖縄に自生するゲットウ(学名: *Alpinia zerumbet*)の根茎から有機溶媒抽出を行って得たエキスを用いて、培養細胞を用いた骨形成評価試験を実施しました。エキスの濃度依存的に、新しい骨を作る機能を促進する効果が見出されたことから、そこから成分を細かく分画⇒細胞試験を繰り返し、最終的に単離した成分を高分解能 LC-MS 及び NMR で測定解析を行ったところ、5,6-Dehydrokawain と dihydro-5,6-dehydrokawain であることが分かりました。

参考文献: Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry 2016, 80 (7), 1425-1432.

事例②サルカケミカン由来成分の脂質代謝調節効果

沖縄に自生するサルカケミカン(学名: *Toddalia asiatica*)の乾燥茎片から有機溶媒抽出を行って得たエキスを用いて、培養細胞を用いた脂肪細胞分化試験や脂質代謝評価試験等を実施しました。エキスの濃度依存的に、脂肪細胞への正常な分化とそれに伴うグルコースの取込み促進や蓄えた脂質の代謝の促進効果が見られました。すなわち糖尿病予防に資する可能性が見出されたことから、そこから成分を細かく分画⇒細胞試験を繰り返し、最終的に単離した成分を高分解能 LC-MS 及び NMR で測定解析を行ったところ、aculeatin が見出されました。

※ただし、サルカケミカンの茎は、厚生労働省より「専ら医薬品として使用される成分本質(原材料)」に分類されています。

参考文献: Biochemical and Biophysical Research Communications 2014, 453 (4), 787-792.

臨床試験やシステマティックレビューに基づくヒトでのエビデンスが不可欠であることは言うまでもありませんが、弊財団では、こうした初期段階の探索と同定に関するサポートも積極的に行ってまいります。どうぞお気軽にお問い合わせください。

◎来月のトピックスは施行を目前に控えた「PFAS について」の予定です。

※行政情報※

* 農林水産省 * (<https://www.maff.go.jp/>)

1. [令和8年度のバター及び脱脂粉乳の輸入枠数量の設定について] (令和8年1月30日 畜産局牛乳乳製品課) https://www.maff.go.jp/j/press/chikusan/c_gyunyu/260130.html
2. [国内産農産物における農薬の使用状況及び残留状況調査の結果について(令和6年度)] (令和8年2月12日 消費・安全局農産安全管理課農薬対策室) <https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/nouyaku/260212.html>
3. [国産麦類のかび毒の含有実態調査(令和4年度～令和6年度)の結果について] (令和8年2月13日 消費・安全局農産安全管理課) <https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/nouan/260213.html>
4. [香港向け家きん由来製品の輸出再開について] (令和8年2月16日 消費・安全局動物衛生課) <https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/260216.html>

*** 厚生労働省 * (<https://www.mhlw.go.jp/>)**

1. [第121回 コーデックス連絡協議会(開催案内)] (令和8年2月10日 健康・生活衛生局 食品監視安全課 輸入食品安全対策室) https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_70031.html
2. [令和7年度 第1回 薬事審議会 化学物質安全対策部会 家庭用品安全対策調査会 配布資料] (令和8年2月10日 医薬局 医薬品審査管理課化学物質安全対策室) https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_70101.html
3. [食品、添加物等の規格基準の一部改正について(器具及び容器包装に係る用途別規格の整理等に関する取扱い)]の一部改正について] (令和8年2月13日 健康・生活衛生局食品監視安全課) <https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/001656040.pdf>

*** 環境省 * (<https://www.env.go.jp/>)**

1. [遺伝子組換え農作物の第一種使用等に関する承認に先立っての意見募集(パブリック・コメント)について] (2026年2月6日 環境省自然環境局野生生物課 外来生物対策室) https://www.env.go.jp/press/press_02628.html

*** 消費者庁 * (<https://www.caa.go.jp/>)**

1. [【動画】加工食品の原料原産地表示制度について] (令和8年1月28日 食品表示課) https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/quality/country_of_origin/movie_001
2. [令和7年度第4回食品衛生基準審議会新開発食品調査部会遺伝子組換え食品等調査会(オンライン会議:一部非公開)の開催について] (2026年2月13日 食品衛生基準審査課新開発食品保健対策室) ※傍聴募集は2/19に終了しています。 <https://www.caa.go.jp/notice/entry/045123/>

*** 内閣府 消費者委員会 * (<https://www.cao.go.jp/consumer/index.html>)**

1. [第81回 食品表示部会 配布資料] (2026年2月6日) <https://www.cao.go.jp/consumer/kabusoshiki/syokuhinhyouji/bukai/081/shiryou/index.html>

*** 農林水産消費安全技術センター * (<http://www.famic.go.jp/>)**

1. [令和8年度残留農薬分析技術講習会について掲載しました] (2026年2月17日 肥飼料安全検査部) <http://www.famic.go.jp/event/>

☆お知らせ☆

＜JFRL 講演会のご案内＞

★Web 録画配信 1月27日に開催し、ご好評いただいた講演会の録画配信をいたします。

配信日時：2026年3月4日(水) 13:15～15:40

基調講演：食事摂取基準(2025年版)におけるビタミンの改定ポイントと課題

情報提供：水道法及び清涼飲料水のPFAS規制およびビタミン分析の現状と課題

定員まであとわずかですが、[こちら](#)からお申し込み受付中です。

★対面開催日：2026年3月6日(金) 会場：アクロス福岡(福岡市中央区) 国際会議場

テーマ：①「食物アレルギー表示と検査方法」②ヌメ活のすすめ～モズクのコイダンはすごい～

締切日：2026年2月26日 詳しくは[こちら](#)をご覧ください